

平成23年6月28日

日本ユニセフ協会 國井 修様

南三陸町保健福祉課
福祉アドバイザー
本間照雄（東北大学大学院）

保健事業の継続的实施について（お願い）

本町の母子保健の再会に関しましては絶大なるご支援を賜り、再会の途につくことができました。これもひとえに日本ユニセフ協会のお陰と感謝しております。しかし、本町の保健事業を継続的に推進するためには、大きな課題があり困っています。そこで、再度皆さまのご支援についてご検討を賜りたくお願い申し上げます。

お話だけでも聞いていただけますと幸いです。宜しくお願い申し上げます。

記

1 課題

南三陸町の保健福祉事業は、2カ所の保健センターで行って来ました。しかし、今回の大規模地震による想定を超えた津波で2箇所とも全壊しました。そこで、小学校等を間借りして、最低限度のスペースを確保して6月14日に乳幼児健診を開始したところです。

しかし、もうすぐ間借りしていた学校も再会となり、健診の場がなくなってしまいます。そこで、仮設で構わないので、母子保健の健診事業や子育て支援機能を有する保健センター並びに特定健診等を行う場の設置がどうしても必要となっています。

2 検討依頼の内容

(1) 依頼項目

保健センター機能及び子育て支援機能を有する建物のご寄付の是非についてご検討をお願いしたい。

(2) 提供を頂きたい建物

- ①事業主体 南三陸町
- ②構造及び面積 S-1F 300 m²
- ③想定仮図面 別添のとおり

(3) 主な部屋

- ・ 集団指導室（プレイルーム）兼健診スペース
- ・ 事務室（記録票置き場）
- ・ 会議室

- ・栄養指導室（キッチン）
- ・トイレ

(4) 備品

- ・コピー機
- ・電話／FAX
- ・事務机
- ・会議用テーブル

3 その他

保健センターの被害は全壊です。現在、浸水域にあるために再建の計画は未定。



4 問い合わせ先

南三陸町保健福祉課健康推進係

工藤・手塚

TEL 0226-46-5113

FAX 0226-46-4514